

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
臨床生理学 (作業療法学科)		選択	2	3	後期 (前半)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
稲場 直子	C303	naoko.inaba	水曜日 13:00 ~ 15:00		
授業の目的・概要	作業療法士に必要な脳・神経、筋肉のはたらきの病態生理学を説明できることを目的とする。講義は Teams を使った同時双方向型授業およびグループワーク形式で行い、国家試験問題を含む小テスト形式の課題を利用して学習する。				
学習上の助言	1, 2 年生で学習した生理学・生理学演習・生理学実習と関連して学習することを心掛けましょう。小テスト形式の課題を中心とした講義を実施するので、予習・復習で疑問が生じた場合は、Teamsなどを介して随時質問し、早めに解決すること。				
教科書	特になし				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	作業療法士に必要な脳・神経、筋肉のはたらきの生理機能を理解し説明できる。			OT (2)	
②	作業療法士に必要な脳・神経、筋肉のはたらきの病態生理を理解し説明できる。			OT (2)	
③	作業療法士に必要な筋原性疾患の病態生理を理解し説明できる。			OT (2)	
④	作業療法士に必要な経原性疾患の病態生理を理解し説明できる。			OT (2)	
⑤	上記に関連する国家試験問題 (共通科目) の解答を解説することができる。			OT (2)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1.2	神経系の情報伝達機構を理解し、病態生理を説明できるようにする。	同時双方向型授業	小テスト形式の課題で復習する。	8	
3.4	筋収縮の機序を理解し、主な疾患の病態生理を説明できるようにする。		小テスト形式の課題で復習する。	8	
5.6	各感覚受容器の構成と機能を理解し、主な疾患の病態生理を説明できるようにする。		小テスト形式の課題で復習する。	8	
7.8	中枢神経系における感覚情報の処理機構を理解し、主な疾患の病態生理を説明できるようにする。		小テスト形式の課題で復習する。	8	
9.10	運動系の構成と情報処理機構を理解し、主な疾患の病態生理を説明できるようにする。		小テスト形式の課題で復習する。	8	
11.12	大脳基底核・小脳・大脳皮質における感覚・運動情報処理機構を理解し、主な疾患の病態生理を説明できるようにする。		小テスト形式の課題で復習する。	8	
13.14	神経原性疾患の機序を理解し、主な疾患の病態生理を説明できるようにする。		小テスト形式の課題で復習する。	8	
15	筋原性疾患の機序を理解し、主な疾患の病態生理を説明できるようにする。		小テスト形式の課題で復習する。	4	
試	定期試験 達成度評価・評価ポイントを参照				

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	0	0	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する（選択式等による筆記試験）。評価割合は50%とする。試験では授業中に取り組んだ課題を基本として講義内容に基づく応用問題を出題し、理解度を問う。				試験結果の返却とともに、正解を提示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業中にグループワークなどを行い、各疾患の病態生理をまとめ、説明してもらおう。評価割合は50%（うち、グループワークに関する学生同士の評価項目も含め、教員が判断する）				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
<p>Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意してください。</p> <p>今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって、シラバスを変更する可能性があります。</p> <p><b>担当教員：</b>◎稲場直子</p> <p><b>実践的授業の内容：</b>教員は、最先端の運動神経生理学分野で 20 年以上研究を続けてきている。その専門性を生かして学生に教授する。グループワークで各疾患の病態生理について学習し、他者に説明できる能力を身に着けるとともに、他者と協力して目標を達成する能力を養い、根拠に基づいた医療の実践に必要な知識と論理的思考力を修得させる。</p>							